

平成18年度下半期

自 平成18年10月1日

至 平成19年3月31日

水道事業業務状況書

江津市水道課

水道事業業務状況書

(平成18年10月1日～平成19年3月31日)

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項の規定により、平成18年度下半期の業務の状況を次のとおり公表します。

1. 事業の概況

ア. 営業

当期の水需要の動向は、前年同期と比較すると給水戸数では、59戸の減少で、また、給水量でも7,326m³の減少となり、年間の総給水量は、年間予定量を下回る結果となりました。

また、前年度との比較では、総給水量で33,448m³減少し、平成14年度からの減少傾向が続いております。

業務量

事 項	平成18年度 年間予定量 A	前年同期 実績 B	平成18年度 実績			年間予定量との比較		
			前期 C	当期 D	計 E	増減 E-A	増減率%	
給水戸数	戸	9,700	9,848	9,908	9,789	9,849	149	1.53
総給水量	m ³	2,189,060	1,094,144	1,078,127	1,086,818	2,164,945	△ 24,115	△ 1.10
一日平均 給水量	m ³	5,997	5,946	5,957	5,907	5,931	△ 66	△ 1.10

イ. 建設改良

平成15年度から行っている江津市上水道第3期拡張事業は、今年度が最終年度であり千田町及び有福温泉町の配水管布設（替）工事の完了により千田、跡市、有福温泉町へ質、量ともに安定した県水を全面的に通水開始しました。

また、電気計装設備工事により中央監視システムを導入し、施設管理の効率化を図りました。

布設替工事については、国庫補助事業の適用を受けて、上水道では江津町、渡津町、敬川町の石綿セメント管布設替工事を、また、簡易水道では、都治町、波積町、浅利町、後地町の老朽管の布設替工事を行い有収率の向上を図りました。

2. 経理の状況

当期の営業収益は、前期に比べ878万1千円の増加しましたが、簡易水道営業収益は、291万1千円減少し、収益全体での前年同期執行額に比べ255万9千円の増加となり3億594万8千円でした。費用については、前期に比べて6,627万3千円の増となり、前年同期の執行額と比べると2,260万4千円の増でした。

年間では、収益は、営業外収益の増加により、前年より1,595万4千円の増の6億2,430万8千円となり、税抜きで5億9,749万7千円の収益を計上いたしました。また、費用は、前年より3,903万5千円増の6億801万7千円で、税抜きでは、5億9,220万5千円となり、529万2千円の純利益を計上いたしました。

(1) 当期間中の事業収益の状況 (単位：千円)

区分	予算額	前年同期 執行額	執行額				損益計算書
			前期	当期	計	予算額との 比較	
営業収益	474,497	237,739	233,821	242,602	476,423	1,926	454,120
簡易水道 営業収益	86,156	43,844	44,218	41,307	85,525	△ 631	81,460
営業外収益	59,689	21,806	40,321	21,974	62,295	2,606	61,852
特別利益	64	0	0	65	65	1	65
計	620,406	303,389	318,360	305,948	624,308	3,902	597,497

(2) 当期間中の事業費用の状況 (単位：千円)

区分	予算額	前年同期 執行額	執行額				損益計算書
			前期	当期	計	不用額	
営業費用	427,267	215,276	187,429	240,573	428,002	△ 735	414,555
簡易水道 営業費用	127,766	73,154	54,210	66,713	120,923	6,843	116,848
営業外費用	43,953	16,948	21,662	22,290	43,952	1	45,669
簡易水道 営業外費用	15,230	7,615	7,571	7,569	15,140	90	15,133
特別損失	600	1,548	0	0	0	600	0
予備費	3,000	0	0	0	0	3,000	0
計	617,816	314,541	270,872	337,145	608,017	9,799	592,205

(3) 当期間中の資本的収入の状況 (単位：千円)

区分	予算額	前年同期 執行額	執行額				損益計算書
			前期	当期	計	予算額との 比較	
負担金	76,048	16,163	11,080	35,244	46,324	△ 29,724	
国庫補助金	68,400	122,200	0	68,400	68,400	0	
他会計補助金	25,386	14,867	4,639	20,747	25,386	0	
企業債	209,400	333,500	0	207,800	207,800	△ 1,600	
他会計借入金	57,115	14,000	43,315	13,800	57,115	0	
出資金	6,000	5,100	0	6,000	6,000	0	
計	442,349	505,830	59,034	351,991	411,025	△ 31,324	

(4) 当期間中の資本的支出の状況

(単位：千円)

区分	予算額	前年同期 執行額	執行額			
			前期	当期	計	不用額
建設改良費	387,227	483,616	11,523	346,751	358,274	28,953
企業債償還金	81,696	38,650	40,834	40,862	81,696	0
他会計借入金償還金	49,326	0	49,326	0	49,326	0
計	518,249	522,266	101,683	387,613	489,296	28,953

※建設改良費の不用額のうち17,610,200円は次年度に繰越して使用します。

(5) 貸借対照表

I 資産の部

5,870,913,689

1. 固定資産

5,260,039,052

ア 土地

346,844,727

イ 建物

241,081,538

減価償却累計額

77,134,638

163,946,900

ウ 構築物

5,405,864,240

減価償却累計額

962,110,612

4,443,753,628

エ 機械及び装置

482,087,294

減価償却累計額

202,074,692

280,012,602

オ 車両運搬具

6,537,150

減価償却累計額

4,495,901

2,041,249

カ 工具器具及び備品

11,520,420

減価償却累計額

10,182,855

1,337,565

キ 建設仮勘定

22,102,381

2. 流動資産

610,874,637

(1)現金及び預金

535,622,627

(2)未収金

73,998,165

(3)貯蔵品

966,855

(4)前払費用

286,990

II 負債の部

180,221,978

3. 固定負債

12,773,070

(1)退職給与引当金

3,239,525

(2)修繕引当金

9,533,545

4. 流動負債

167,448,908

(1)一時借入金

0

(2)未払金

166,582,983

(3)預り金

865,925

III 資本の部

5,690,691,711

5. 資本金

2,966,232,990

(1)自己資本金

576,157,021

(2)借入資本金

2,390,075,969

6. 剰余金

2,724,458,721

(1)資本剰余金

2,623,882,565

ア 国庫補助金

717,699,573

イ 県補助金

16,873,722

ウ 他会計補助金

212,710,931

エ 寄付金

1,534,334

オ 負担金

1,589,842,824

カ 受贈財産評価額

85,221,181

(2)利益剰余金

100,576,156

平成19年度予算の状況

1. 経営方針

今年度の予算は、引き続き給水戸数の減少により、給水量の減少が見込まれるため、収益的収入の給水収益の減少を見込んでおり、営業収益を簡易水道営業収益とあわせ、4,146千円減額しており、支出については、建設改良による企業債利息の増加や減価償却費の増加により前年より7,817千円増加し197千円の支出超過の予算を編成いたしました。

また、有収率の向上のための老朽管の更新や新たに松平簡易水道の拡張及び更新事業のため、建設改良事業にも積極的に投資するため、資本的収入及び支出予算は、86,868千円の支出超過予算を編成し、過年度分損益勘定留保資金等で補填することとしております。

今後も安全かつ良質な水道水の供給に努めるとともに、住民福祉の向上のため努めてまいります。

2. 予算の概要

ア. 業務の予定量

事 項	平成19年度予定量	平成18年度予定量 (当初)	比較	
			増減	増減率%
給水戸数 戸	9,680	9,700	△ 20	△ 0.21
総給水量 m ³	2,153,040	2,189,060	△ 36,020	△ 1.65
一日平均給水量 m ³	5,882	5,997	△ 115	△ 1.92

イ. 収益的収入及び支出

(単位：千円)

区 分	平成19年度予定額	平成18年度予定額 (当初)	比較		
			増減	増減率%	
収 入	1. 営業収益	463,259	467,228	△ 3,969	△ 0.85
	2. 簡易水道営業収益	86,229	86,406	△ 177	△ 0.20
	3. 営業外収益	46,416	32,632	13,784	42.24
	計	595,904	586,266	9,638	1.64
	うち給水収益	547,676	551,822	△ 4,146	△ 0.75
支 出	1. 営業費用	404,895	400,816	4,079	1.02
	2. 簡易水道営業費用	124,929	135,253	△ 10,324	△ 7.63
	3. 営業外費用	47,788	33,502	14,286	42.64
	4. 簡易水道営業外費用	14,889	15,113	△ 224	△ 1.48
	5. 特別損失	600	600	0	0.00
	6. 予備費	3,000	3,000	0	0.00
	計	596,101	588,284	7,817	1.33
収支差引	△ 197	△ 2,018	1,821	△ 90.24	

ウ. 資本的収入及び支出

(単位：千円)

区 分	平成19年度予定額	平成18年度予定額 (当初)	比較		
			増減	増減率%	
収 入	1. 負担金	23,258	38,950	△ 15,692	△ 40.29
	2. 国庫補助金	51,400	65,900	△ 14,500	△ 22.00
	3. 他会計補助金	45,332	18,240	27,092	148.53
	4. 企業債	184,700	216,100	△ 31,400	△ 14.53
	5. 他会計借入金	64,424	57,115	7,309	12.80
	6. 出資金	14,000	0	14,000	皆増
	計	383,114	396,305	△ 13,191	△ 3.33
支 出	1. 建設改良費	325,267	357,851	△ 32,584	△ 9.11
	2. 企業債償還金	87,600	81,696	5,904	7.23
	3. 他会計借入金償還金	57,115	49,326	7,789	15.79
	計	469,982	488,873	△ 18,891	△ 3.86
収 支 差 引		△ 86,868	△ 92,568	5,700	△ 6.16
補 填 財 源	当年度分消費税資本 的収支調整額	9,313	10,095	△ 782	△ 7.75
	当年度分損益勘定留 保資金	0	0	0	
	過年度分損益勘定留 保資金	77,555	82,473	△ 4,918	△ 5.96
	当年度利益剰余金処 分額	0	0	0	
	減 債 積 立 金	0	0	0	